

# 新しい市政を実現するための

市町村合併を見すえた検討および実施

市政提案箱（市長への手紙） 地域づくり懇談会、100人委員会、市政モニターや市民談話室での市長アワー（市長が直接みなさんの声をお聞きします）などによる新たな意見・提言を

## 重 点 的 に 取

### 【既に取り組んでいる主な施策】

教育の充実

- ・ 小学校1・2年生における30人学級の実施、学校施設など教育環境の整備

福祉の充実

- ・ 子育て総合相談室設置、介護保険施設の整備、バリアフリー化の推進、徘徊高齢者位置検索システムの利用助成

市政の改革

- ・ 100人委員会の設置、市民談話室の設置、市政提案箱の設置、ワンストップサービスの推進（福祉部を本庁舎へ移転） 行政評価システムの構築、貸借対照表などの作成・公表、窓口サービスの充実

文化・観光の推進

- ・ 歴史的建造物の調査、白兔海岸周辺整備、しゃんしゃん祭など各種イベントの充実

男女共同参画の推進

- ・ 男女共同参画センターの設置

市町村合併の推進

- ・ 市町村合併協議会の設置

中心市街地の活性化

- ・ 100円循環バス実験運行、商店街ハンギングフラワー設置支援、弥生にぎわい拠点整備構想の策定

地場産業の振興

- ・ 地産地消推進体制の整備、地産地消の取り組み推進（学校給食） まちの起業家育成事業の創設

高速交通網の整備促進・高度情報化の推進

- ・ 鳥取自動車道（姫鳥線）実現のための取り組み、CATVインターネットへの取り組み

生活環境などの向上

太平（三角）公園の整備、旧袋川多目的公園の整備、浄水施設の見直し、環境管理の国際規格ISO14001の認証取得、緑の基本計画の策定、湖山池周辺整備基本計画の策定

## さまざまな分野における

14年度

りながら、市民サービスの向上を追求する一方、市民のみならず、各種団体、企業など民間の協力や活力をいただきながら、最大限の効率化を図り、地域の活性化を高めていくような新しい手法により行政運営を進めることが重要であると考えています。

また、市民ニーズを的確に把握しながら、最小の経費で最大の効果を上げるため、市役所の業務を再点検し、「行政経営」という観点をもちながら改革を進め、市町村合併を前提に一層、簡素で効率的な行財政基盤の確立を図ることが必要です。

さらに、改革を進めるにあたっては、情報公開の充実と市民参画促進の取り組みの強化（ガラス張りの市政の実現）、市の事務や事業の見直しによるムダな支出の削減、市民サービスの向上のための取り組みの強化、女性や若者の声を市政に反映させるための取り組みの強化、市役所の組織体制の見直しと適正な人事配置などを重要な観点とする必要があります。

このたび作成した改革プランについては、実施・検討時期を明示し迅速に対応するとともに、今後の検討を踏まえ、実施が可能ななったものについては前倒しするなど柔軟に対応することとしています。

市政改革は、これらの考え方をともに、必要に応じて、今後このプランを見直しながら継続的に取り組みます。